

「ぴゅあ峡南フェスティバル 2019」記念講演会
「我が町のコト、男女共同参画のコト、映画をとおして考えよう！」
矢崎仁司監督&石阪督規教授 トークライブ

講師 矢崎 仁司さん（映画監督・脚本家）

石阪 督規さん（埼玉大学教授）

10月19日（土）ぴゅあ峡南 研修室

「ぴゅあ峡南フェスティバル 2019」が10月19日開催され、そのプログラムの中で、記念講演会が開催された。「我が町のコト、男女共同参画のコト、映画をとおして考えよう！」をテーマとして、富士川町在住で映画監督、脚本家である矢崎仁司氏と埼玉大学教授で多くの自治体の男女共同参画や、まちづくりなどに携わる石阪督規氏によるトークライブが行われた。合間に映画上映も行われた。



矢崎仁司さん

石阪督規さん

矢崎監督は20年前、ふるさと富士川町（旧鵜沢）に戻れたとのこと。きっかけは、子どもが生まれ、その子どもたちに、死というものを感じてもらうため、死と自然に出くわせたいとの思いから。また、帰郷して感じたことは、監督の幼少時代は自然が豊かだったが、今では、ショッピングモールができ、個人商店がなくなってしまう風景が変わってしまったことに残念の意を表していた。でも、たべものは昔と変わらず、それ以上においしい（特に地元の野菜が）と。映画監督になろうと思ったきっかけは？と石阪教授が尋ねると、大学の時に隣の席の男の子が映画好きで映画のことについて聞かされるうちに、自分も映画に興味を持ち、学ぶようになったとのこと。

1980年には「風たちの午後」という作品でデビューする。次は、「三月のライオン」。この作品はベルギー王室主催レイ

ス・ブニュエル「黄金時代」賞を受賞。「太陽の坐る場所」は、笛吹市出身で2018年本屋大賞を受賞した作家の辻村深月氏の著書作品。その後も「無伴奏」など反響を呼ぶ作品を手掛けるなど、国外からも評価されている進取の気性に富んだ監督。

監督は生まれた地域に貢献したいと考え、思いついたのが、地元富士川町での「シナリオ教室」。監督の指導のもと、町民たちが制作した「富士川日記 2018“はんぶん”」である。この作品が記念講演会のなかで30分間上映された。夫の定年退職を機に家事や母親の介護を分担することにした夫婦の気持ちの変化や繋がりを描いた物語で、男女共同参画の色合いが見える作品。キャストは町内外の男女6人が参加され、町内の民家や公園、図書館などを舞台に撮影されたとのこと。トークの中で、余談として「スイートリトルライズ」の女優・中谷美紀さんや「太陽の坐る場所」に出演された俳優さんは、裏表のない人たちで、本当に良い人たちに出会えてよかったと微笑ましく語っていた。また、現在、新作映画「さくら」（西加奈子原作）を2020年夏公開に向けて取り組んでいると気合が入っているように感じられた。

次のステーションでは、石阪教授が監督に「男女共同参画〇×△クエスチョン」と題して、10項目の質問を投げかけるパフォーマンス。政治や行政の仕事は男性のほうが向いている（監督回答・以下同じ：×）。男女平等はけっこう進んでいる（×）。男性も育児休暇を取るべきだ（〇）。子育ては母親の役目である（×）。……そして最後の質問で、今回の講演会を行ったことで峡南地域の男女共同参画は一步前進したと思う（〇）。

終盤には、矢崎監督から会場へのメッセージとして「シナリオを書いてみませんか？」との発言も。シナリオは、映画の三要素として重要であるとのこと。2019年11月、12月、2020年1月の3回にわたって、富士川町のますほ文化ホールで監督による「シナリオ講座」が開催されるそうである。

最後に今回のトークライブを通じて、石阪教授の話の引き出し方と矢崎監督の映画に対する熱い思いが私たちに伝わり、楽しい時間を過ごすことができて良かった。

レポート 市瀬百合子（ぴゅあ企画・運営サポーター）

DV 相談機関のご案内

パートナーからの暴力に悩んでいませんか？

殴る、蹴る、髪をひっぱる、大声で怒鳴る、交友関係を制限する、
生活費を渡さない、性行為や中絶の強要 ……。

暴力には様々な形があり、性別、年齢、国籍を問わず、許されるものではありません。

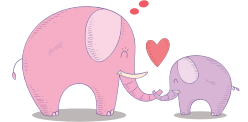
あなたと、あなたの大切なひとを守るために、わたしたちがサポートします。

ひとりで悩まず、ご相談下さい。相談は無料、秘密は厳守します。



- 配偶者暴力相談支援センター（山梨県女性相談所）
電話 055-254-8635 毎週月曜日～金曜日 9:00～20:00
- 配偶者暴力相談支援センター（山梨県男女共同参画推進センター・ぴゅあ総合）
電話 055-237-7830 第2・4月曜日を除く 9:00～17:00
- 山梨県警察総合相談室（または最寄りの警察署）
電話 #9110（緊急の場合は110番通報を！）
- 女性の人権ホットライン（甲府地方法務局人権擁護課）
電話 0570-070-810 毎週月曜日～金曜日 8:30～17:15
- 男性総合相談（山梨県立男女共同参画推進センター・ぴゅあ富士）
電話 0554-56-8742 毎月第1日曜日 13:00～17:00

アンシン♪
アンシン♪



★令和元年度ぴゅあ総合普及・啓発事業★
- 女性の活躍支援講座 -



自分らしい働き方をみつける

ワークショップ

- ◆ 第一回：1月16日（木）
- ◆ 第二回：1月23日（木）

10:00～11:30 ワークショップ
(Points of you®を使用したコーチング講座など)
11:30～12:00 個別相談（希望者のみ）

講師：加藤 香さん
(NPO 法人 bond place)

女性にとって働き方と暮らし方は切り離せないもの。
だからこそ、自分に合った働き方を考えることは
「自分らしい生き方を考えること」です。
起業やテレワークなど、働き方の選択肢の幅は広がっていますが、
どこから始めたらいいのか、一人で悩んでいる人も多いのではないのでしょうか。
「自分らしく働く」を見つけるキッカケづくりの機会として本講座を開催します。

- 会場：ぴゅあ総合 小研修室1
- 対象：自分らしい働き方を模索している一般女性
(二回とも参加できる方)
- 定員：30名（要事前申込）
- 受講料：無料 ■ 託児：あり（要予約）

designed by freepik.com



おいしいお茶と日替わりランチ ぴゅあ総合1階 マンマ・ゴッソ

mam ma gosso



日替わりランチ¥850、パスタ/カレー¥900～、ドリンク¥300～ お弁当の予約もお受けします。

